

令和5年度研修計画一覧表

番号	研修名	開催日	時間	種別 CPD	レベル	目的	研修科目及び主な内容	講師(案)	受講料 (円)	形態	定員 (人)
1	【新規】安全管理の基本	4月14日	13:30 ～16:30 (3時間)	○	全員	建設現場における安全管理の基礎知識を学び、建設現場での労働災害防止につなげる。	・安全管理の基本 ・労働安全衛生法について ・最近の法改正の概要について	榑藤井基礎設計事務所 技師長 加川博康	3,300	web	150
2	斜面災害の発生原因と対策	4月19日	10:00 ～16:00 (5時間)	○	中級 上級	豪雨災害や地震による土砂災害等が発生している中、大規模災害の要因と調査設計の留意点について学び、技術者としての資質の向上を図る。	・斜面防災の状況と斜面災害の現状 ・斜面災害の事例とその対応 (切土、盛土、自然斜面、土石流) ・予防保全と点検	西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社 技師長 下野 宗彦 課 長 川波 敏博	5,000	web	150
3	電気・機械設備の品質管理	6月2日	10:00 ～16:00 (5時間)	○	中級 上級	電気・機械設備工事に関する品質管理のポイントや留意点等を解説し、技術の向上を図る。	・品質管理の計画について ・各設備工事での留意点について ・品質管理上の不適切事例 ・品質管理トピック	株式会社 竹中工務店	5,000	web	150
4	激化する豪雨災害への対応	6月13日	10:00 ～16:00 (5時間)	○	初級 中級	豪雨災害の特徴や、平成30年7月豪雨等の事例を紹介し、近年激甚化している豪雨災害に対応できる技術者の育成を目指す。	・豪雨災害の現状 ・降雨のメカニズムと豪雨災害の特徴 ・災害事例事例 ・復旧工法、新技術の紹介	日本工営(株)広島支店 技術部 早川 智也	5,000	web	150
5	やさしい構造力学 (2日間)	6月15日 ～16日	各日 10:00 ～16:00 (10時間)	○	新人 初級	擁壁等の構造物の設計の考え方や施工上必要となる基礎的な構造計算の方法など、新人技術者に必要となる構造力学の基礎を学ぶ。	・基礎理論の概説(用語の習得) ・土木設計実務と構造力学との関係 ・断面計算、応力計算	榑インフラ・ラボ 代表取締役 松永昭吾	10,000	web	150
6	仮設工	6月20日	10:00 ～16:00 (5時間)	○	初級 中級	工事の施工に必要な土留、型枠、支保工、仮締切等の設計・施工について事例を基に学び、仮設構造物の重要性を理解し、工事の安全かつ円滑な施工につなげる。	・仮設構造物の概要 ・土留・仮締切の設計 ・施工・失敗事例紹介	榑藤井基礎設計事務所 技師長 加川博康	5,000	web	150
7	【新規】建築基準法入門	6月22日	13:30 ～17:00 (3.5時間)	○	初級 中級	建築基準法及び関連制度の概要や最近の改正点等を解説する。	・建築基準法及び関連制度 ・最近の改正点、留意点	鳥取短期大学 教授 宮脇儀裕 鳥取県生活環境部くらしの安心局住まいまちづくり課	3,300	web	150
8	土質の基礎(2日間)	6月27日 ～28日	各日 10:00 ～16:00 (10時間)	○	新人 初級	土の基本的な性質、調査・試験方法、土の圧密・強さなど、新人技術者に必要となる土質力学の基礎を学ぶ。	・模型による土の性質の理解・演習問題 土の構造、圧密、せん断、土の強度試験 ・模型で知る土中で使われる土質力学 トンネル、土のう、崖崩れ防止対策 地すべり防止対策	榑藤井基礎設計事務所 代表取締役 藤井俊逸	10,000	web	150
9	事例から学ぶ現場の安全管理(1回目・2回目)	7月6日 7月7日	10:00 ～16:00 (5時間)	○	全員	建設工事における事故事例や、企業や現場での効果的な取組みから安全管理に関する理解を深め、建設現場での労働災害の減少につなげる。	・労働災害の現状 ・労働災害統計の考察 ・転倒リスクとヒヤリ・ハット ・災害事例	株式会社DOSUCO技術士事務所 代表取締役 松谷 孝広	5,000	web	300
10	建築工事の積算演習	7月13日	10:00 ～16:00 (5時間)	○	初級 中級	建築数量積算基準の解説及び積算演習を通じて、積算実務について理解を深める。	建築数量積算基準の解説 計測・計算の演習及び内訳書の作成 内外装、土工、地業、躯体 ※使用テキスト 「建築数量積算基準・同解説」(大成出版、4,400円) 各自購入をお願いします。	(公社)日本建築積算協会 中国四国支部 八道 憲一	5,000	対面	40
11	軟弱地盤対策	7月19日	10:00 ～16:00 (5時間)	○	中級 上級	施工時に必要となる軟弱地盤の特性や軟弱地盤対策工法の理論・メカニズムを理解し、技術力の向上につなげる。	・軟弱地盤の調査 ・軟弱地盤対策工法事例 ・施工上の留意点、安全対策 ・軟弱地盤・液状化対策の最新動向・新技術	日本工営(株) 札幌支店 技術第二部 専門部長 橋本 和明	5,000	web	150
12	事例から学ぶ災害対応(地震編)	7月28日	10:00 ～16:00 (5時間)	○	初級 中級	大阪、北海道地震の被害状況や対応から見てきた課題と将来予想される大規模災害に向けての備えについて解説し、地震災害に対応できる技術者の育成を目指す。	・最近の地震災害 (災害の概要、被害状況) ・発災直後の災害対応 ・将来の大規模災害に向けた備え	榑インフラ・ラボ 代表取締役 松永昭吾	5,000	web	150
13	コンクリート構造物 ひび割れ補修	8月2日	10:00 ～16:00 (5時間)	○	中級 上級	ひび割れの発生原因や補修における対策・留意点等、コンクリート構造物のひび割れ補修に関する専門的な知識と技術を学び、技術力の向上を図る。	・ひび割れの診断事例 ・初期ひび割れの抑制対策 ・ひび割れの発生原因とひび割れの補修 ・ひび割れ補修における対策・留意点	西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社	5,000	web	150
14	建築工事の品質管理	8月30日	10:00 ～16:00 (5時間)	○	中級 上級	建築工事に関する品質管理について、品質管理のポイントや留意点等を解説し、技術の向上を図る。	・建築工事における品質管理 ・躯体工事の品質管理 ・仕上げ工事の品質管理 ・設備関連工事の品質管理 ・品質管理トピック	株式会社 竹中工務店	5,000	web	150

※受講対象者の目安(経験年数)

新人:5年未満 初級:5～10年 中級:10～20年 上級:20年以上